

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組により、円滑に避難勧告を発令

— 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 —

- 市、県、国からなる「四万十川減災対策協議会」で検討された減災に関する取組方針に基づき、タイムラインや河川国道事務所長から自治体首長へのホットラインを実践。
- 台風16号から断続的に降雨が続いており今後の降雨により急激な水位上昇が予想されたことから、ホットラインにより中村河川国道事務所と密に連携を図りつつ、四万十市が対象地域への避難勧告を**想定より前倒して発令**。防災行政無線、広報車、IP告知端末、緊急速報メールにて避難を呼びかけ、消防・警察と連携したパトロールを実施。



中筋川・磯ノ川水位観測所(9月20日9:10)最高水位8.85m



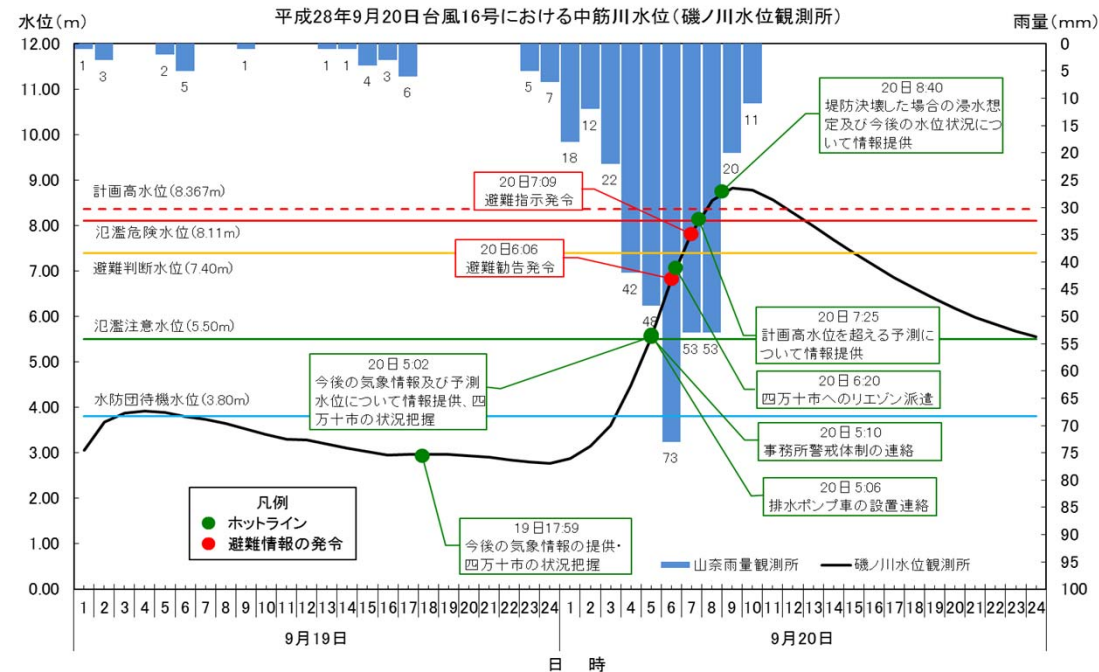
平常時の中筋川・磯ノ川水位観測所



消防・警察によるパトロール

中村河川国道事務所から四万十市へのホットライン

いそのかわ 磯ノ川観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



<避難状況>

- 避難勧告 20日6:06 四万十市中村・具同・東山・下田・八東・中筋・東中筋・後川・大川筋・蕨岡・富山地区(約15,000世帯、約32,000人)
- 避難指示 20日7:09 四万十市中筋・東中筋・具同(中組・西組・中山団地)地区(約1,700世帯約3,800人)
- 避難所へは**最大94人**が避難